

様式第 5 号－ 2 （第 1 2 条関係）

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名	春光子どもの居場所づくり事業実行委員会
2 事業の名称	春光子どもの居場所づくり事業	
3 実 施 期 間	令和6年7月6日 から 令和7年2月28日まで	
4 事 業 内 容	夏季、秋季、冬季に1回ずつ計3回、春光地域の子どもたちが楽しめるイベントを実施した。	
	(1) 子ども縁日（令和6年8月1日） 春光住民児童センター開催の「水鉄砲バトル」と協力し、子ども縁日を実施した。かき氷、ポップコーン、フランクフルト、冷やしきゅうり、飲み物を提供した。	
	【広報関係】	
	① チラシの配付先	
	北鎮小・春光小・末広小の児童	1, 0 6 0 部
	啓北中・六合中	5 9 0 部
	春光住民児童センター・北部住民センター	1 0 0 部
	末広図書館・末広公民館	1 0 0 部
	計	1, 8 5 0 部
	② あさひかわ ぐらしのアプリでの発信	
【参加者】		
未就学児から中学生 1 6 5 名		
高校生（藤星高・北高など） 1 2 名		
保護者 3 6 名		
実行委員、町内会等協力者 1 8 名		
(児童センターキッズクラブ含む) 計 2 3 1 名		
(2) 子ども食堂（令和6年10月5日） 北部住民センターにて、春光地域で初めての試みとなる子ども食堂を実施した。おにぎり、豚汁、ほっけ餃子、牛乳寒天を提供したほか、子どもの遊び場を設置した。		
【広報関係】		
① ポスターの掲示（北部住民センター・春光住民児童センター）		
② あさひかわ ぐらしのアプリでの発信		
③ 市ホームページ・SNSにて発信（市発行物の内容として掲載）		
【参加者】		
来場者（保護者含む） 3 4 名		
スタッフ（学生ボランティア含む） 2 0 名		
計 5 4 名		

	(3) お餅つき (令和7年2月1日) 春光六区団地集会所にて、小学生以上を対象にお餅つき体験を実施するとともに、子どもの遊び場を設置した。 【広報関係】 ① ポスターの掲示 (春光住民児童センター) ② あさひかわ ぐらしのアプリでの発信 【参加者】 <table> <tr> <td>来場者 (保護者含む)</td><td>38名</td></tr> <tr> <td>スタッフ (学生ボランティア含む)</td><td>8名</td></tr> <tr> <td>計</td><td>46名</td></tr> </table>	来場者 (保護者含む)	38名	スタッフ (学生ボランティア含む)	8名	計	46名
来場者 (保護者含む)	38名						
スタッフ (学生ボランティア含む)	8名						
計	46名						
5 成果と課題	○成果 近隣の小・中学校へのチラシ配付や住民センター・児童センターでのポスター掲示、「あさひかわぐらしのアプリ」での発信のほか、口コミにより、多くの子どもたちにイベントに参加いただくことができた。 また、実行委員以外にも、町内会の協力や児童センターに通う子どもたち (児童センターキッズクラブ) による担い手活動に加え、高校生を中心とした多数の若年層の参加・協力により、子どもから大人まで、「地域一体となって事業を実施した」という実感が得られた。また、今年度は、児童センターキッズクラブを代表して、2名の児童が実行委員の一員として参画したことで、子ども縁日の具体的な内容など、事業内容に児童の意見を反映することができた。また、学生ボランティアとしての協力者からも、活動への参加を通して、楽しさだけではなくやりがいを感じられているとの声があり、参加者側だけではなく、担い手側にとっても、有意義な事業を実施することができた。 ○課題 夏の行事は、児童センター主催のイベントと同時開催で実施しているところであるが、今後、児童センターから離れたとしても、事業を実施・継続できるようにすることを意識して、地元を中心とした様々な人とのつながりを作っていくことが必要である。今年度から、イベント当日の担い手として積極的に関わりを持ってきている地域住民などに対して、実行委員会への加入を打診するなど、具体的な行動に移していく。 また、子ども食堂とお餅つきについては、実行委員会として初めての試みであったこともあり、大人たちが主導で動くことが多い状況にあったが、今後、イベントのなかで子どもたちの主体性に基づいた行動を少しずつでも増やすことができるように、働きかけていく必要がある。						

◆水鉄砲バトル、子ども縁日（R6.8.1）◆



◆子ども食堂（R6.10.5）◆



◆おもちつき（R7.2.1）◆



収 支 決 算 書

事業の名称	春光子どもの居場所づくり事業
団体名	春光子どもの居場所づくり事業実行委員会

1 収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 (B－A)	収入内訳
補助金	60,000	60,000	0	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
参加料	0	6,300	6,300	子ども食堂 参加料(大人のみ：300円×21名)
団体自己資金	0	109	109	
合 計	60,000	66,409	6,409	

2 支出の部 (単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	左のうち 補助対象経費	差 (B－A)	支出内訳
報償費	10,000	6,000	6,000	▲ 4,000	学生ボランティアへの謝礼 500円×12名 6,000円
消耗印刷費	10,000	21,502	21,502	11,502	チラシ (1,900部) 5,565円 文具類 990円 使い捨て食器類など必要物品 14,947円
賄材料費	30,000	33,327	33,327	3,327	子ども縁日, 子ども食堂等材料費 33,327円
使用料	10,000	5,580	5,580	▲ 4,420	会場使用料 (北部住民センター) ・9/13 実行委員会 210円 ・9/26 実行委員会 210円 ・10/5 子ども食堂 5,160円
		0	0	0	
		0	0	0	
合 計	60,000	66,409	66,409	6,409	